

はくほく

No194 2013- 1-28(月)
責任者 三浦真吾
事務局 吉田朝夫
釧路市美原3丁目57-4 TEL 36-7426

二〇一三を迎えて

厳しいのは寒さばかりではなく、国民の暮らしも本当に厳しいものになっているのだなあと痛感しています。二日間ほど議員さんと地域の挨拶回りをしましたが、玄関に出てこられた方の多くは、防寒着をしっかり身につけておりました。灯油が高いですから、ストーブのメモリを控えめにして、防寒着を纏つて対応しているのでした。丁度訪問予定のお一方が外で立ち話をしていました。議員の顔を見るなり、自分たち年金生活者がこんなに辛い暮らしをしているのに、生活保護受給者が、自分たちより楽なくらしをしている、おかしいではないかとの訴えがありました。道新は六回連載で、生活保護問題を取り上げていましたが、行政の窓口従事者は、財政支出を抑えようと、受給者を抑制しようとして、国民年金などの生活者は、保護費を受給している人達を恵まれ過ぎていると言つて牽制するのは、弱いものが弱いものを見たぶつていても悲しくなります。

昨年末の総選挙、投票率四割で、八割の議席を獲得した自民党が結果として圧勝しました。国民に対する選挙公約をことごとく投げ捨てた民主党政権への決別であり、決して、自民党の公約／自公政権オーケーの審判ではありません。なのに、早々と「原発廃止」の見直し／「TPP」検討、「普天間」の辺野古移設、消費税の増税など、遂来の「大企業・アメリカ言ひなり格好」を突き進もうとしています。

七月には参議院選挙がありますから、眞の国民の声を届けたいのです。私的なことになりますが、最近、私たち高齢者は、肉体の老化の進行を抑えるために意図的な取り組みをしないといけないと思っています。昨年十一月から、健康サークルに入り、ノルデックウォーキングをしています。認知症予防のために、積極的に人との関わりを持つように心がけています。食べ物のバランスも大切とのことで、難しいですが気をつけています。会員の皆さんのが、可能な限り元気で長生きできるように、それぞれが心がけていることを「機関紙「はくぼく」で交流しあえるといいですね。この一年皆さんのご多幸を祈念申し上げます。

初級知識症狀問題研究學術社會

私たち後期高齢者は、日を重ねる」と自分では自覚しないが「認知症」の症状に進んでいます。先日の役員会で、検討しましたが、予防と早期発見・対応のために、「認知症を正しく知る」ということで、次の日程で学習会を企画しました。自分でなく、周囲の人達へのかんしんをも高めるため、是非参加して学習してみませんか。

が終了したことを記念しての講演でした。すでに購読されていると思いますが、貴重な体験談の記録ですので、独断でプリントして三回に分けてお届けする」としました。(一読下さい。)この講演が終わったあと、年明けの一月一日の朝、入院介護を続けていた和子さんがお亡くなりになりました。

最愛の妻を十五年有余も在宅介護を続けられ感謝の言葉を語ることもなく逝った和子さん。野瀬さんの最善の介護はしつかりと受け止められて逝つたことと思います。野瀬さん、長い間の介護、本当にご苦労様でした。

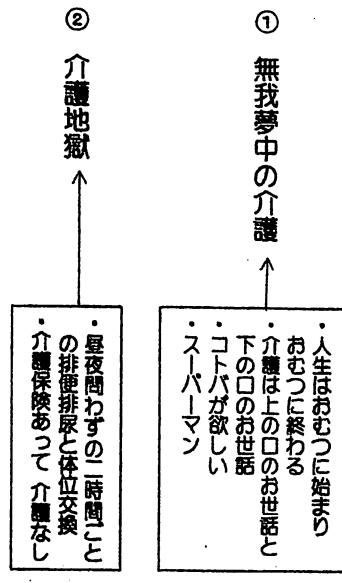
の介護 本当にご苦労様でした
野瀬さんは、いろんなところで、この
介護の話をってきており、機会があれ

で聞いてほしいと思ひます。
退職教としても機会があつたら語つてもらう場を設けたいと考えています。

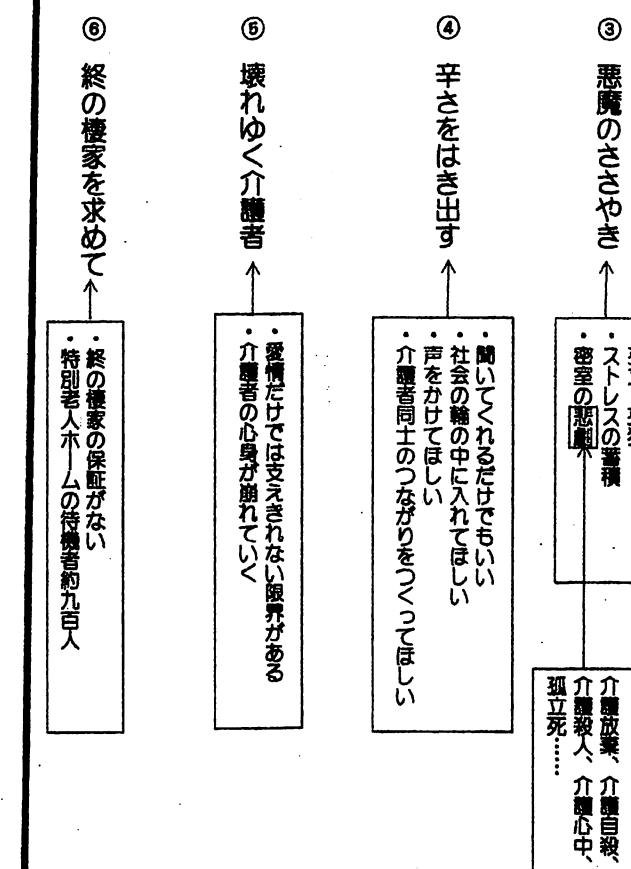
「人間の死と介護の問題」

野瀬義昭

お話をあらすじ



〈毎日交わすコトバのない会話—2012年秋〉



* 1996/9/3 妻・和子(当時 55 歳) - 脳梗塞で倒れ現在に至るコトバも失う

『娘よ』の替え歌

- あの世へ行くのが来なけりやいいと
生きてるものなら誰でも思う
早いもんだね60を過ぎて
ひざは痛いし目はかすむ
いろいろ悩みはあるけれど
愚痴を言わずに楽しく暮らそう
- しわや白髪ができなきやいいと
年をとったらだれでも思う
早いもんだね70を過ぎて
腰は曲がるし 頭はぼける
だけど 心はまだ二十(はたち)
年代(とし)など忘れて明るく暮らそう
- ボケや中風になりたくないけど
おじじおばばは願いは同じ
早いもんだね80を過ぎて
孫は30でひ孫もできた
年に不足はないけれど
お迎え来るまで 元気でいたい

没後80年・2013年

小林多喜二を語るつづり・くしう

とき 2013年2月10日(日)午後1時30分～
ところ 生涯学習センター(ハイビジョンシアター)
参加費 500円

<講演>群馬の多喜二奪還事件と
それを担った青春群像

講師 長谷田 直之氏
(伊勢崎多喜二祭実行委員会事務局長)